

Uniportal versus multiportal video-assisted thoracoscopic anatomical resection for NSCLC : a meta-analysis

Yueren Y, Qingyuan H, Han H, et al

J Cardiothorac Surg. 2020 Sep 9 ; 15 (1) : 238. doi : 10.1186 /s 13019-020-01280-2 .

目 的：非小細胞肺癌に対して解剖学的肺切除を行った単孔式胸腔鏡下手術（U-VATS）と多孔式胸腔鏡下手術（M-VATS）の短期成績に関する検討。

方 法：Pubmed および Web of Science から非小細胞肺癌に対して解剖学的肺切除を行い U-VATS と M-VATS の短期成績を比較した論文を抽出し、メタアナリシスを行った。評価項目は、手術時間、出血量、郭清リンパ節個数、胸腔ドレーン留置期間、術後在院日数、術後第 1 病日の疼痛（visual analogue scale : VAS）、開胸移行率である。

結 果：20 論文を抽出し、4,142 症例（U-VATS : 1,869 例, M-VATS : 2,173 例）が解析の対象となった。手術時間（U-VATS : 146.48 ± 55.07 min versus M-VATS : 171.70 ± 79.40 min, $p=0.81$ ）、出血量（U-VATS : 74.49 ± 109.03 mL versus M-VATS : 95.48 ± 133.67 mL, $p=0.18$ ）、郭清リンパ節個数（U-VATS : 17.28 ± 9.46 min versus M-VATS : 18.31 ± 10.17 min, $p=0.62$ ）、開胸移行率（U-VATS: 6.18% versus M-VATS : 4.34%, $p=0.14$ ）、胸腔ドレーン留置期間（U-VATS : 3.90 ± 2.94 days versus M-VATS : 4.44 ± 3.12 days, $p=0.09$ ）、術後在院日数（U-VATS : 6.16 ± 4.40 days versus M-VATS: 6.45 ± 4.80 days, $p=0.22$ ）、術後第 1 病日の VAS（U-VATS :

3.94 ± 1.68 versus M-VATS : 3.59 ± 2.76 , $p=0.07$ ）のいずれの項目においても 2 群間に有意差を認めなかった。

結 語：最新のメタアナリシスでは、U-VATS と M-VATS において短期成績に差は認められなかった。遠隔期成績は検討できておらず未だ不明であり、非小細胞肺癌の解剖学的肺切除に際して U-VATS は慎重に選択されるべきである。

【コメント】 単孔式胸腔鏡下手術は、2010 年頃から解剖学的肺切除にも導入され、上海を中心に普及しつつある。非小細胞肺癌に対する手術アプローチを選択する際には、安全性と根治性を両立したうえで、いかに低侵襲に行うかが重要である。本論文は U-VATS と M-VATS の短期成績についてメタアナリシスを行った意義のある論文である。U-VATS は美容的側面の利点以外に術後疼痛の軽減が期待できる、との後ろ向き研究の論文があるが、今回のメタアナリシスの結果からは術後第 1 病日の VAS はむしろ M-VATS で低くなっている。今後、U-VATS が非小細胞肺癌外科的切除の標準アプローチとなるためには、術後疼痛の優位性と長期成績の非劣勢の 2 点においてよくデザインされたランダム化比較試験を行う必要がある。

文 敏景（がん研有明病院 呼吸器センター外科）